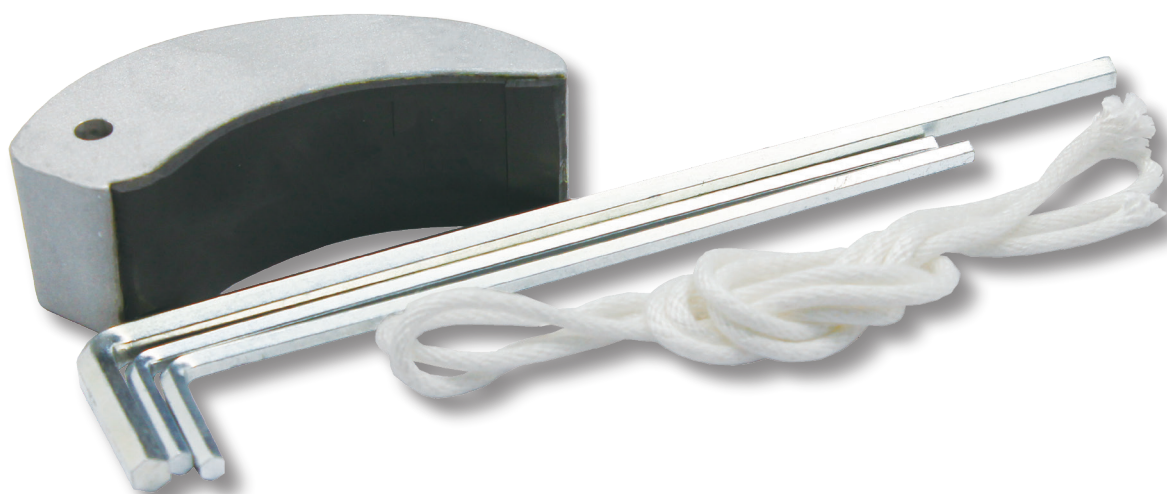


取扱説明書

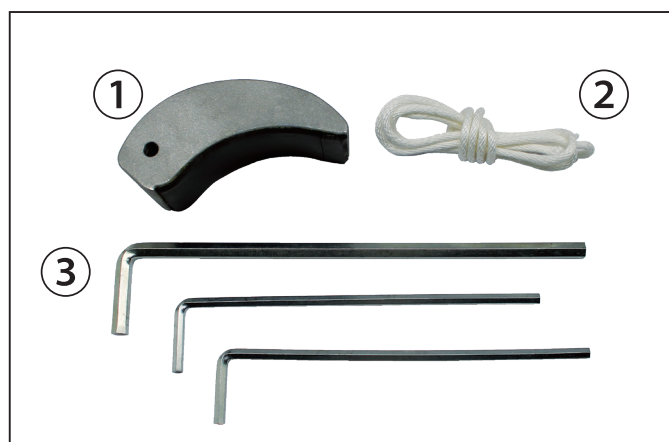
この度は、CP-515SH ベルトテンショナーツールをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前は内容品の確認と使用時における取り扱いを熟読頂き、ご理解の上ご使用頂きますようお願い致します。



内容品

- ① ベルトテンショナーツール
- ② 落下防止用 紐
- ③ 固定ピン
(6mm × 1本 / 4mm × 2本)



適合車種

車種	年代	車両型式	エンジン型式
セレナ	2012 年 10 月～	C26,C27	MR20DD-SM23 MR20DD-SM24
X-TRAIL	2013 年 12 月～	T32	MR20DD-RM31

セレナ・C26 / X-TRAIL・T32 アイドリングストップ付車両

取り外し

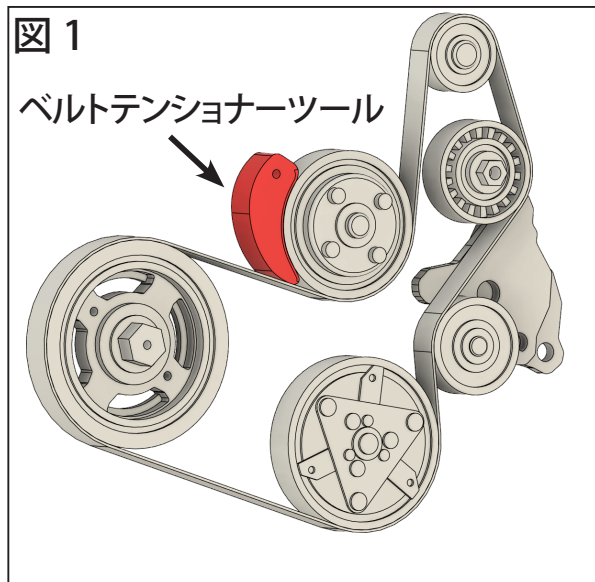
1. 右フロントホイールと
右フェンダプロダクトを外します。



注意

上記部品を取り外す際は
必ず車両のサービスマニュアルに
沿って作業を行ってください。

2. 補機ベルトが見えますので
本工具を図 1 の様にセットします。

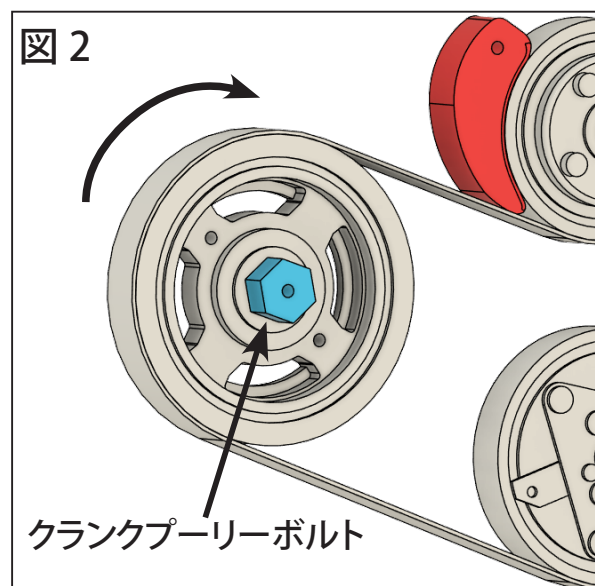


3. クランクプーリーボルトに
スピナーハンドル等を取り付けて
矢印の方向に回転させます。

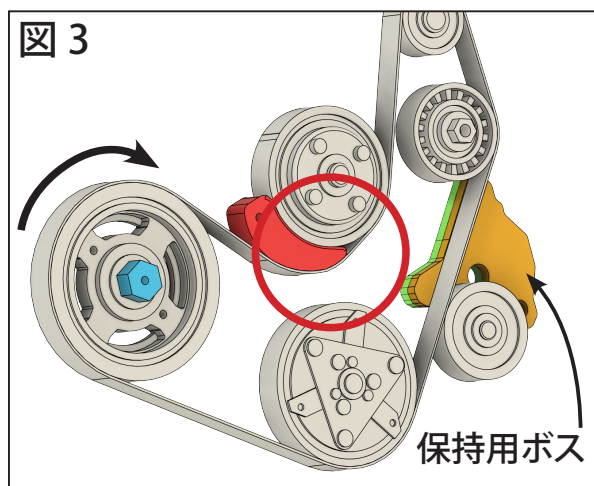


注意

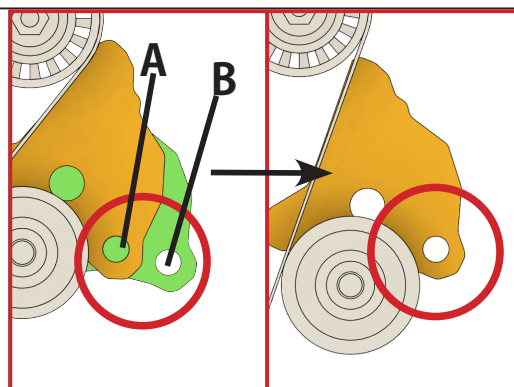
クランクプーリーボルトを
回すときは必ず六角ソケットレンチ
を使用して下さい。



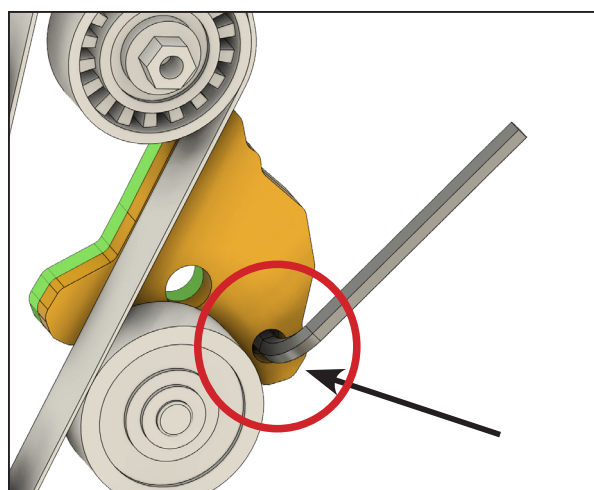
4. 本工具がウォーターポンププーリと補機ベルトの間に入っていることを確認しながら、クランクプーリーボルトを矢印の方向に回し、保持用ボスの穴に六角レンチ (6mm) を差し込める位置で止めます。



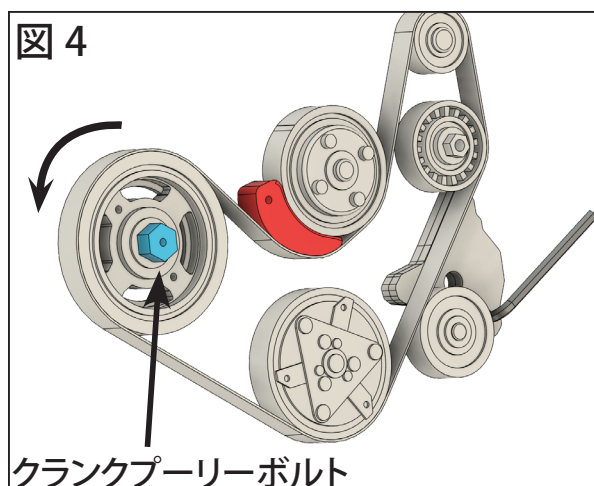
穴 A,B が重なる位置までクランクプーリーボルトを回しベルトを調節します。



5. 保持用ボスの穴に六角レンチ (6mm) を差し込んでテンショナープーリを固定します。

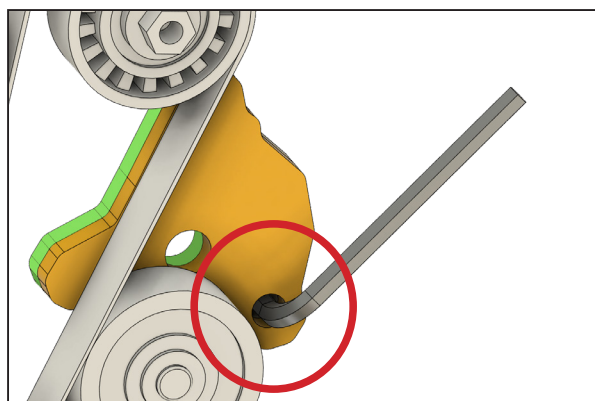


6. クランクプーリーボルトをスピナーハンドル等で図 4 の矢印方向に回転させて本工具を取り外します。
補機ベルトが外せるようになりました。



取り付け

1. 保持用ボスの穴に六角レンチ (6mm) が差し込んであり、テンショナープーリーが固定されている状態で補機ベルトをプーリーに掛けます。



本工具を取り付け作業前に以下の項目を必ず確認してください。

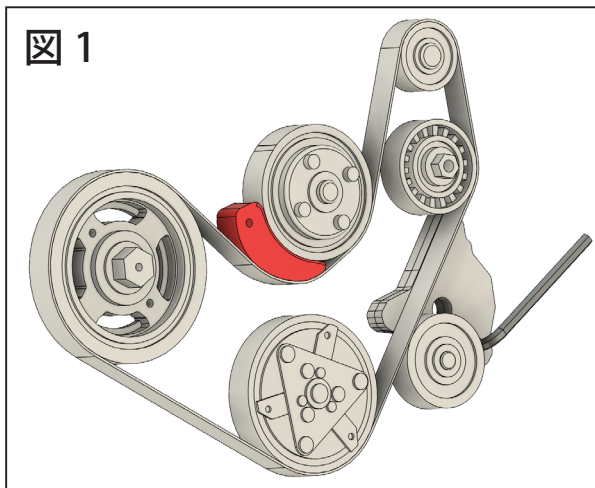


注意

- ・補機ベルトが正しい経路にあるか。
- ・補機ベルトが各プーリー溝に確実に噛み合っているか。
- ・補機ベルト、及び周辺部位にエンジンオイル、エンジンクーラント及びその他油脂類が付着していないか。

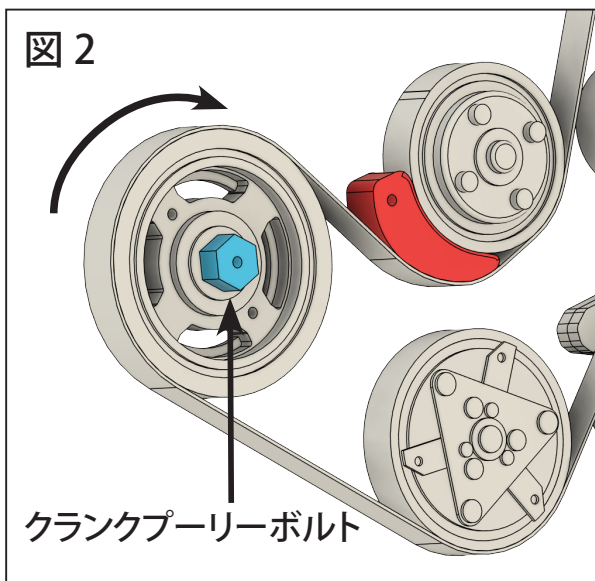
2. 本工具を図 1 の様にセットします。

図 1



3. クランクプーリーボルトにスピナーハンドルを取り付けて矢印の方向に回転させます。

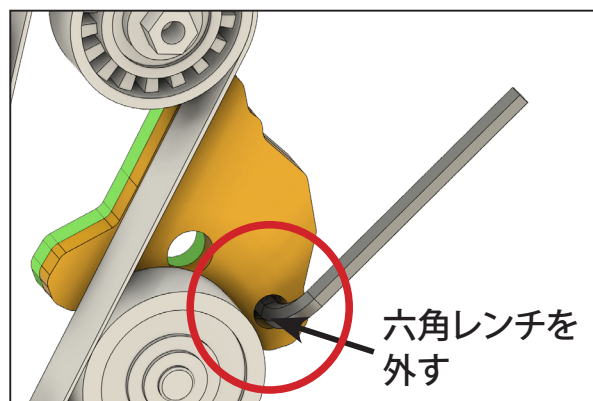
図 2



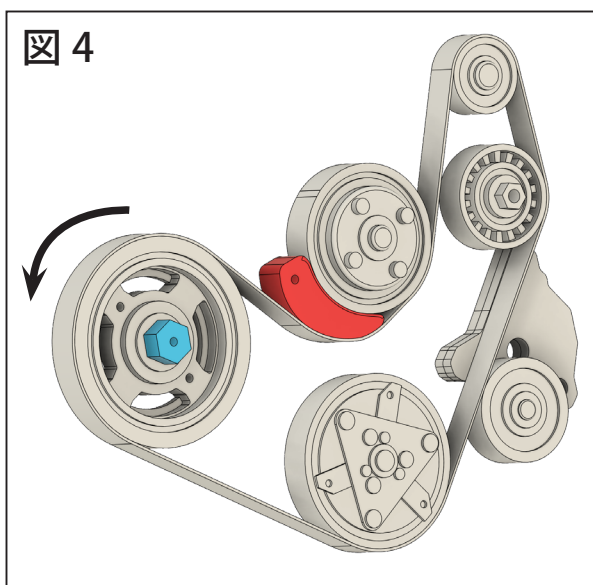
注意

クランクプーリーボルトを回すときは必ず六角ソケットレンチを使用して下さい。

3. 保持用ボスに差し込んである六角レンチ (6mm) を取り外し、固定を解除してください。



4. クランクプーリーボルトをスピナーハンドル等で図4の矢印方向に回転させて本工具を取り外します。
5. クランクプーリーを2回転以上回し車両のサービスマニュアルに沿ってプーリー間の張力を均等化します。



注意

必ず、エンジン始動前に下記作業を行ってください。
エンジン及びベルトの破損の原因になります。

- 補機ベルトオートテンショナーのインジケータが使用可能範囲にあることを確認し、点検・調節を行ってください。

セレナ・C27 S-HIBRID システム付き車

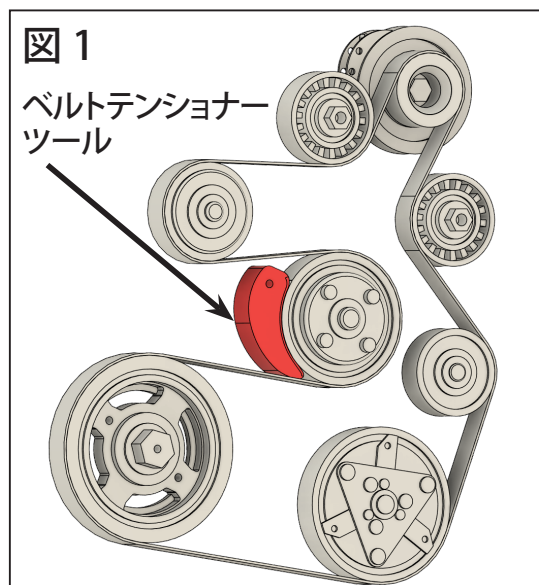
取り外し

1. ウォッシャタンクインレットを取り外します。
2. 右フロントホイールを取り外します。
3. スプラッシュガードを取り外します。
4. 右フェンダプロテクタの前側を取り外します。



注意

上記部品を取り外す際は必ず車両のサービスマニュアルに沿って作業を行ってください。



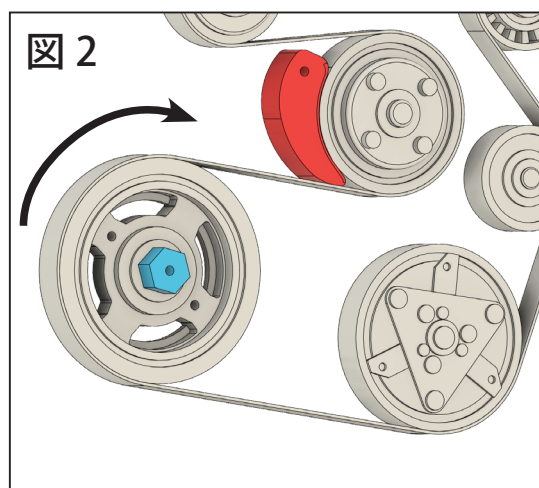
5. 本工具を図 1 の様にセットします。

6. クランクプーリーボルトにスピナーハンドル等を取り付け矢印の方向に回転させます。

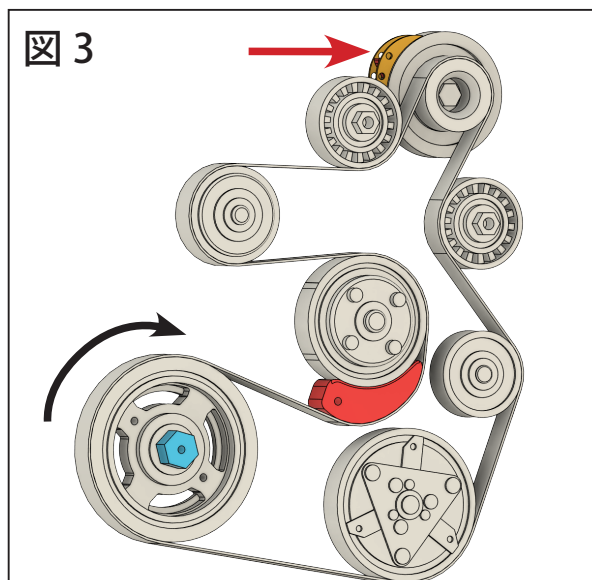


注意

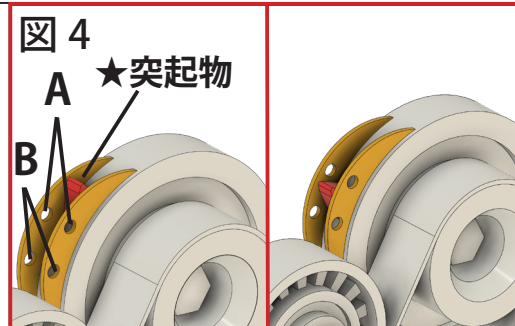
クランクプーリーボルトを回すときは必ず六角ソケットレンチを使用して下さい。



7. 本工具がウォーターポンププーリと補機ベルトの間に入っていることを確認しながら、クランクプーリーボルトを
図4の「★突起物」が保持用ボスの穴AとBの間に来る位置まで矢印方向に回してください。

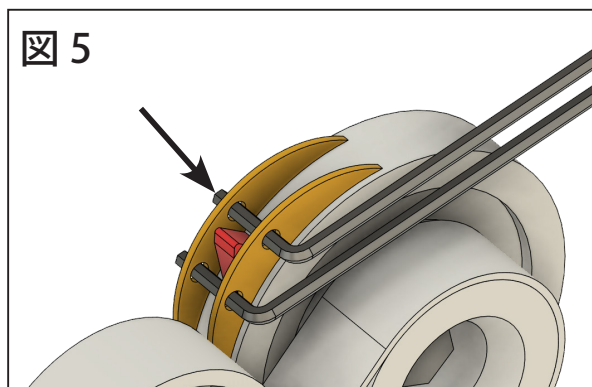


8. 保持用ボスの穴A・Bに六角レンチ(4mm)を図5の様に15mm程差し込んでテンショナープーリを固定します。



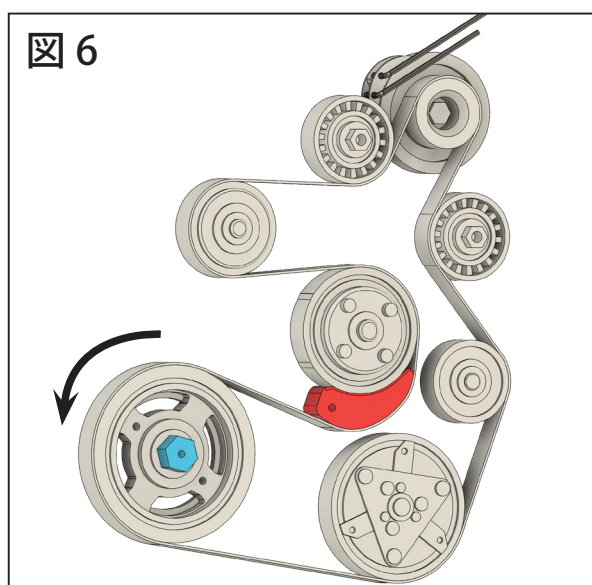
注意

六角レンチを奥に差し込みすぎると、六角レンチの先端が補機ベルトオートテンショナーに干渉し補機ベルトが外せなくなります。



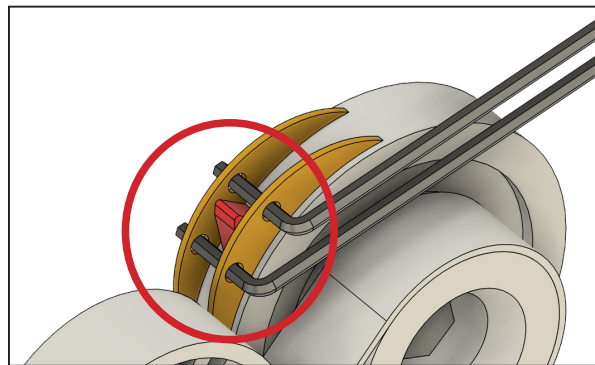
9. クランクプーリーボルトをスピナーハンドル等で図6の矢印方向に回転させて本工具を取り外します。

補機ベルトが外せるようになりました。



取り付け

1. 保持用ボスの穴に六角レンチ (4mm) が差し込んであり、テンショナープーリーが固定されている状態で補機ベルトにプーリーを掛けます。



本工具を取り付け作業前に以下の項目を必ず確認してください。

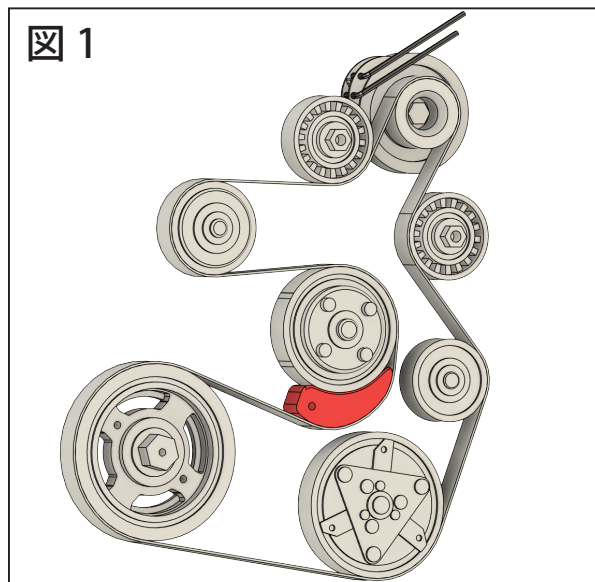


注意

- ・補機ベルトが正しい経路にあるか。
- ・補機ベルトが各プーリー溝に確実に噛み合っているか。
- ・補機ベルト、及び周辺部位にエンジンオイル、エンジンクーラント及びその他油脂類が付着していないか。

2. 本工具を図1の様にセットします。

図1



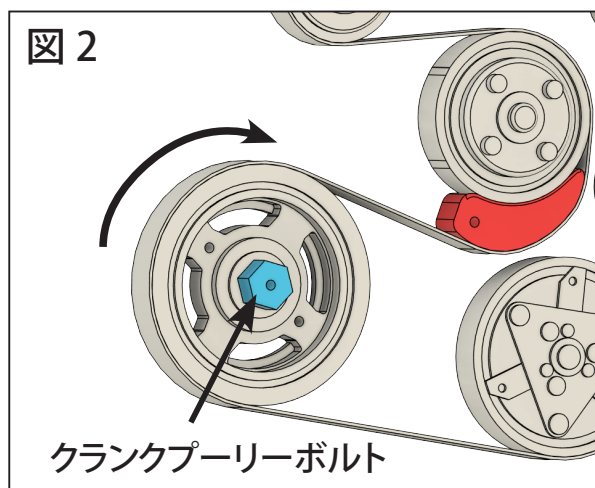
3. クランクプーリーボルトにスピナーハンドル等を取り付けて矢印の方向に回転させます。



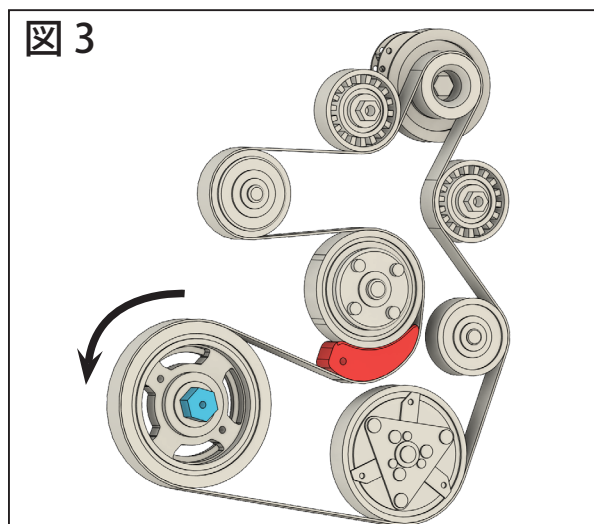
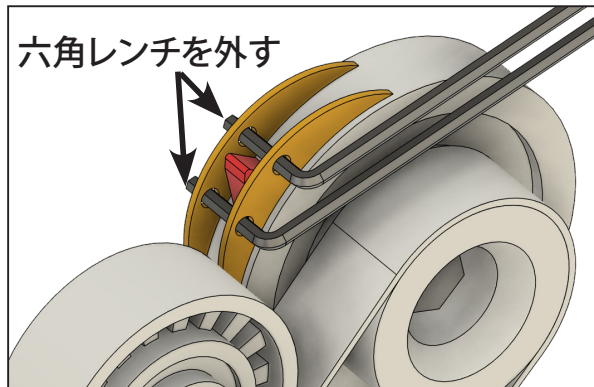
注意

クランクプーリーボルトを回すときは必ず六角ソケットレンチを使用して下さい。

図2



3. 保持用ボスに差し込んである六角レンチ (4mm) を取り外し、固定を解除してください。
4. クランクプーリーボルトをスピナーハンドル等で図 3 の矢印の方向に回転させて本工具を取り外します。
5. クランクプーリーを2回転以上回し、車両サービスマニュアルに沿ってプーリー間の張力を均等化します。



必ず、エンジン始動前に下記作業を行ってください。
エンジン及びベルトの破損の原因になります。

注 意

- 補機ベルトオートテンショナーのインジケータが
使用可能範囲にあることを確認し、点検・調節を行ってください。

保証に関して

●保証条件について【ご購入後 1 年間】

品質的または技術的な欠陥品は、欠陥品返品修理の手順に基づき修理または新品交換致します。
欠陥品かどうかの判断は発売元が決定いたします。
当保証は、事故・不正使用・交換・意図されている目的以外での使用、
または取扱説明書に従わなかった場合の損傷につきましてはいかなる保証も致しません。
当保証は正式な販売店から購入された物に限定させて頂きます。
当保証を譲渡や移転する事はできません。
発送時に発生した損傷については送付側の責任となります。
返却品・輸送方法は販売店の許可が必須条件となります。

●返却時の注意事項

返却品の輸送方法は販売店の許可が必要で、運送会社の指定等がありますので
必ずお問い合わせの上、お送りください。
また、輸送時の損傷を防ぐために十分な梱包を行ってください。
返却時に発生した損傷につきましては当保証では対応できません。
送付側の責任となりますのでご注意ください。